教科	保健体	育	科目(単位数)	体育(3)	学年	1	類型	全	クラス	
学習 目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。									
期間	単元(学習内容)			学習の到達目標				自己評価		
年度初~ 1学期 中間考査	運動・ス つくり運		ソの文化的特徴体	・スポーツの意義や歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴について理解する。 ・自己の体に関心を持ち、自己の体力に応じた課題を 持って運動を行い、体をほぐしたり、体力を高めたりす ることができる。				取組 理解	A B C D A B C D A B C D	
1学期中間 〜期末考査	球技選択(バスケット・バ レー) 水泳(クロール)			・基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 ・手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。				取組 理解 関心	A B C D A B C D A B C D	
1 学期期末 ~ 2 学期 中間考査	球技選択 (ミントン・陸上競技 (武道 (柔道	卓球) (ハード		・練習や試合の企画運営をグループで主体的に活動する力を身に付ける。 ・スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。 ・リズムの特徴を強調して、全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ること。 ・基本動作や技を身に付け、攻撃したり防御することができる。				取組 理解 関心	A B C D A B C D A B C D	
2学期中間 〜期末考査)ー・ハ (ハード						取組 理解 関心	A B C D A B C D A B C D	
2 学期期末 ~3 学期 学年末考査		・サッ	フトボール・ソフ ソカー・ハンド E離走)	・練習や試合の企画運営をグループで主体的に活動する力を身に付ける。 ・自己の技能・体力に合わせて目標タイムを設定し、そのペースに応じたスピードを維持して走る。				取組 理解 関心	A B C D A B C D A B C D	
	球技選択(ソフトボール・ソフ トテニス・サッカー・ハンド ボール)			・練習や試合の企画運営をグループで主体的に活動する力を身に付ける。チーム内での自分の役割を考え、体力や技能の向上に向け積極的に行動することができる。				取組 理解 関心	A B C D A B C D A B C D	
使用教(教科書・		教科書:「現代高等保健体育改訂版」(大修館書店)								
学習方法		体調管理を行いながら授業に出席し、主体的な活動を通して自己の課題(体力面・技 能面・精神面)を改善していく。								
評価方法			各運動種目により運動技能・記録取りの実技テスト 8 割程度。 出席・授業態度 2 割程度。							